



JABLAS NEWS

発行日 2016. 4. 1

目次

新年度のご挨拶	RMA 代表理事/JABLAS 会会長 井口新一	2
～会員の声～	日本たばこ産業株式会社 葉たばこ研究所 斎藤 秀章 様	4
「良い社会とは」	RMA 監事 宮川 雅明	6
「RMA の活動及び JABLAS 会の今後について」アンケート集計結果		7
～連載 のんびり薬膳で健康生活～ NEW		
第一回 「薬膳ってなあに？」	薬膳インストラクター 関 なつき 様	10
～弁護士先生のコラム～ NEW		
契約書に一工夫、試験所のためのトラブル回避テクニック	弁護士法人かながわパブリック法律事務所 北川 靖之 先生	12
2015 年度実施セミナー/研究会/見学会 (12 月～2016.3 月)		14
見学会レポート 東京大学医学部附属病院検査部 様	RMA 理事 関 顯	15
2016 年度公開セミナー・講演会・研究会のご案内		17
JAB 最新情報		19
事務局だより		20

新年度を迎えて

2016 年 4 月 1 日
 一般社団法人 RMA 代表理事
 JABLAS 会会長
 井口 新一

会員の皆様におかれましては、平素より RMA 並びに JABLAS 会の活動に絶大なご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

昨年 9 月に皆様に長年馴染んでいただいております法人名一般社団法人 JAB 試験所協議会(JABLAS)を一般社団法人 RMA と変更させていただきました。この法人名の変更は、会員の皆様の活動をより一層支援できる体制創りと活動内容の一層の充実を目指すことを目的としていることは、既に皆様ご案内のとおりです。

I. JABLAS 会会員の地域分布

今年度は新法人名、一般社団法人 RMA としての初年度となります。この新年度を迎えるにあたり、昨年秋には、会員の皆様ご協力を得て「RMA の活動及び JABLAS 会の今後について」のアンケートをさせていただきました。このアンケート結果は既にご報告させていただいております。

また、今回 RMA 事務局において機関会員の地域分布を整理いたしました。図 1 がその分布を示しています。更に図 2 は、各地域で JAB から認定を受けておられる機関のうち、RMA JABLAS 会会員になっていただいている機関数の比率を整理した図です。

図 2 の関連として、認定された機関の分野毎に JABLAS 会加入比率を整理しますと図 3 となりました。

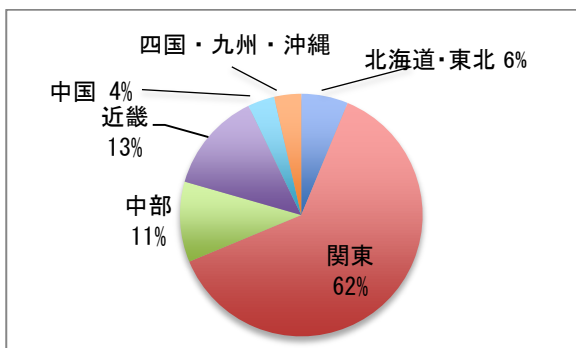


図 1 JABLAS 会機関会員の地域分布

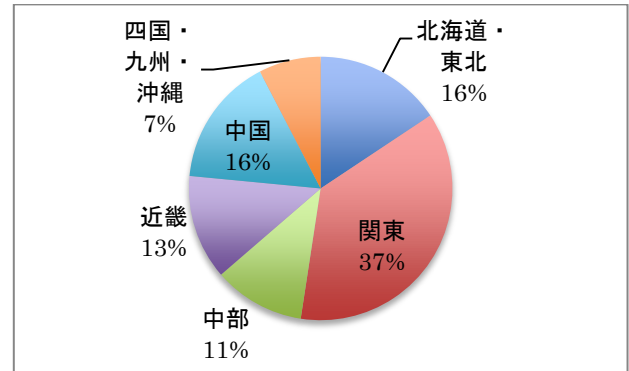


図 2 各地域の JAB 認定機関数に対する JABLAS 会会員比率

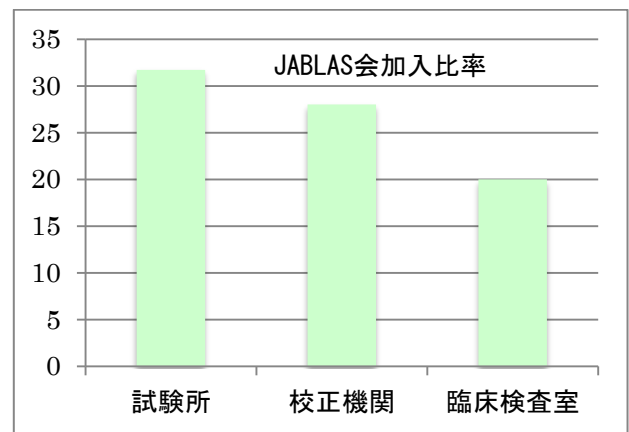


図 3 JAB 認定を受けておられる機関の分野毎の J A B L A S 会加入比率

機関会員の分布整理からは次のことがいえるのではないかと考えております。

- ・ 機関会員の 6 割強が関東地域であり、近畿その他の地域会員は少ない。
- ・ JAB に認定されている機関のうち JABLAS 会加入率は関東の 4 割弱が最大という状態に留まっている。
- ・ JAB に認定されている機関で RMA JABLAS に加入していただいている機関の分野は、試験所で 30%強であるが、臨床検査室では、20%に留まっている。

「RMA の活動及び JABLAS 会の今後について」のアンケート結果および会員の地域分布整理結果から、今年度は、次の事項に重点をおいて活動していきたいと考えております。

- ・ 従来の公開プログラム内容を会員要望に応えるべく見直ししていくこと。

- ・ 関東地区以外での活動を増加させ、関東地区以外の地区の会員の要望にこたえていくこと。
- ・ 臨床検査室など JAB から認定されているが JABLAS 会への加入が少ない分野に対して、当該機関が魅力を感じるプログラムを展開していること。

これらの重点事項の具体的実施事項として、本年度は次の事項を実施計画し、今後もプログラム／イベントを追加していく予定です。

- ・ 公開セミナー毎にいただいているアンケート結果のレビューとセミナー講師を含むセミナー内容の改善検討をおこなう。
- ・ ISO 15189 臨床検査室に特化した内部監査員養成コースを開設する。
- ・ ISO/IEC 17025 システム構築またはマネジメントシステム構築に関連した講演を開設する。今年度は食品の安全対策、標準化並びにヒューマンエラーに関する講演会を開設する。
- ・ 試験所見学会の開催頻度を増やすと共に、関西地区での試験所見学会を開催する。
- ・ 従来東京のみで開催していた JABLAS 会の総会を、関西地区（大阪または京都）での開催を追加する。
- ・ 国内の試験所等の意見交換に留まらず、認定されたアジアの試験所との情報交換或いは協働の可能性提供の場として、アジア認定試験所国際会議(仮称)を 2017 年度の開催目標に関係国、関係先と協議、準備を進める。

II. ISO 規格等の動向

既に皆様もご存じのとおり ISO/IEC 17025 改正は 2017 年夏の発行を目標に、ISO のワーキンググループが活動を開始しています。今回の改正では、規格構造（要求事項の配列）を ISO 指針「ISO/IEC 専門業務用指針 補足指針」の付属書 SL で提示されているマネジメントシステム規格の「上位構造」を採用した規格とすると決定されています。さらに ISO/IEC 17025 には、試験所等が構築すべきマネジメントシステムの選択肢のひとつとして ISO 9001 が記載される可能性ができました。

今年の 10 月には労働安全マネジメントとして ISO 45001 の発行が予定されています。この規格は、試験所等の活動に直接影響することは少ないと考えていますが、「安全は全てに優先する」という産業界の姿勢を考慮すると試験所等の機関の皆様も放置しておけない規格ではないかと考えています。

今年の 2 月には ISO 15189 認定の保険点数加算が決定しました。この加算には、幾つかの施設基準がおかれているものの、これにより ISO 15189 認定取得は加速すると思われます。

以上の規格関連動向は、ほんの一部の動向であり、実務面ではさらに多くの対外的な枠組みに対応しておられるのではないかと考えております。

JABLAS 会では、個々の規格対応だけでなく、複数の規格を含む対外枠組みに効率的に対応する方策も今後検討対象としていかなければならないと考えています。

この検討を行うことを目的として、本年度中には有志の方々を募って何らかの研究会または勉強会の開設を準備しています。

以上、本年度の RMA JABLAS 会の活動計画概要とその背景を述べさせていただきました。これまでの JABLAS 会の活動は、常に会員の皆様からのご協力の下に進めてきました。皆様からのこれまでのご協力に感謝いたしますと共に、本年度もこれまで以上に RMA JABLAS 会へのご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

末筆になりましたが、皆様のますますの業務拡大とご発展を心よりお祈り申し上げます。

～会員の声～

たばこの信頼性向上のために



日本たばこ産業株式会社
葉たばこ研究所
斎藤秀章（品質管理者）

はじめに

当社は日本専売公社を前身とし、1985年に日本たばこ産業株式会社（以下 JT）として設立され、たばこの製造・販売を主な事業としております。当社は、たばこ事業のグローバル化を積極的に推進し、現在では JT グループとして 90 以上のブランドを 120 以上の国と地域で展開しています。日本国内では世界トップレベルのたばこ製造・販売・研究の技術・ノウハウを活かし、約 6 割の市場シェアを獲得しています。

当社は 1987 年より医薬事業に進出しました。自社にとどまらず、ライセンスパートナーをはじめとする国内外のネットワークやグループ会社との連携を広く活用した研究開発を推進するとともに、スムーズな製造・販売体制を構築しています。

また加工食品事業では、テーブルマークグループを通じて、「一番大切な人に食べてもらいたい」という想いのもと、冷凍麺をはじめとして、「お客様に美味しく、安心してお召上がりいただける」商品づくりを進めています。

たばこについて

たばこはその起源が南アメリカのアンデス高地と言われているナス科タバコ属の一年生草木です。現在 60 種以上が発見されていますが、そのうち喫煙に用いられるのは、*Nicotiana tabacum* と *N. rustika* の 2 種のみです。世界的に栽培されているのは主として *N. tabacum* で、*N. rustika* はごく限られた地域でのみ栽培されています。



【葉たばこ栽培】

葉たばこの品種

原料となる葉たばこには、黄色種、バーレー種、オリエント種、在来種と大きく四つの種類がありますが、それぞれに特徴、用途、産地が異なります。



黄色種

世界で最大の生産量。乾燥した葉は黄色
甘い香りがある。



バーレー種

乾燥した葉は褐色で、チョコレート様の香りがある。



オリエント種

主な産地はトルコ・ギリシャ。優雅な芳香と甘みを兼ね備えている。

たばこはブランド毎に上述たばこを中心に配合され、種々のプロセスを経て製造されています。

葉たばこ研究について

当葉たばこ研究所は 1947 年に大蔵省専売局宇都宮煙草試験場として発足し、日本専売公社宇都宮たばこ試験場を経て、民営化後の JT 宇都宮たばこ試験場から、1988 年の社内組織改編を受け葉たばこ研究所として発足しました。

当研究所は、16ha の圃場を有し植物としての葉たばこ栽培を行っています。

当研究所は、JT のたばこ事業を原料研究の側面からサポートしています。原料研究の基幹研究所として、国内はもとより、広く海外も含めた原料葉たばこの品質向上のために様々な研究を行っています。優良品種の開発、原料品質に関する研究など、お客様が JT 製品の品質に対して満足していただけるよう、新技術の研究開発を行っているのが特徴です。葉たばこの育種、分子生物学、植物生理、植物病理、生化学、分析化学などの関連分野を活かした原料に関する幅広い研究開発を推進しています。

当社情報

会社名：日本たばこ産業株式会社

本社所在地：東京都港区虎ノ門 2-2-1

葉たばこ研究所所在地：栃木県小山市大字出井 1900

主な事業内容：たばこ事業、加工食品事業、医薬事業

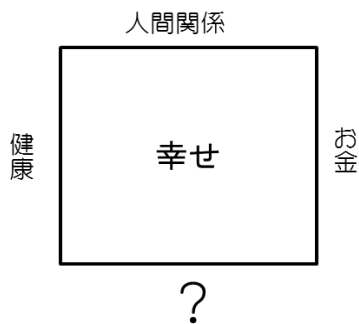
グローバルラボラトリーとしての取組み

当研究所の分析担当ではグローバルに通用する試験所として、そして社内外顧客満足を高めるために、2007 年より ISO/IEC 17025 に基づく「品質マネジメントシステム」を導入しています。2012 年には放射能測定について、2015 年にはニコチン・水分測定について試験所認定を取得し、データ品質信頼性の更なる向上に努めています。

「良い社会とは」

一般社団法人 RMA 監事 宮川 雅明

良い社会とはどのような社会なのだろうか。それはチャンスのある、チャンスの多い社会ではないだろうか。研修や講義などで次のような質問をすることがある。幸せの定義があるとすれば何か。一つは人間関係。そして健康。困らない程度のお金。もう一つあげるとすれば何か。正解はない。自己実現というのはどうだろうか。



昔、ビジネスマンの生き方というのを教えていただいたことがある。VSOP だ。20代はバイタリティをもって我武者羅に働く。今では時短は当たり前であるが、20代の時に我武者羅に働いたことがない物はろくなものにはならない。納期意識、品質へのこだわり、仕事への責任感なんてものは理屈で教えられるものではない。身体で習得するものだ。30代はオリジナリティ。これで飯が食えるというスキルを最低一つは身に付ける時代。40代はオリジナリティ。最も仕事ができる年代。大小問わず独自のこと、歴史に残るようなことに挑戦する。部下が出来るような仕事はしない。50代はパーソナリティ。VSO をこなして、最後は“ああいう人になりたい”と言われるようになること。気になるのはオリジナリティだ。

金利はマイナス、GDP もマイナス、アベノミクスに対する評価も危うくなってきた。そんなことはどうでもいいとは言わないが、もし本田宗一郎が生きていたらそんなことは気にせず、好奇心の塊をもって新たな技術そして製品を開発しただろう。

小原 鐵五郎氏（元全国信用金庫協会会長、故人）「いまの日本人は どうして米国人の真似ばかりするんだろう。それも悪い真似ばかり。カードでお金を借りて旅行へいくなんで若い人がいるが、あれは言語道断だ。しかも、それを金融機関があおりたてている。（中略）単にお金を貸して金利をとるとするのは金融機関の本来の姿ではない。（中略）担保の六割とか七割を貸すというようなことは誰でもできる。（中略）融資を恩に着せてしまうのがもっともいけない。融資を受ける相手のことを親身に考えているということがその相手にわかれば、おのずと取引の親密さも深まってくる。大金融機関

が一分や二分安い金利で攻勢をかけてきても中小金融機関と取引を絶つというようなことはない。（中略）豪華な車を乗り回し〜こういう人のいる企業は概して将来が暗い。行員服に油がしみこんでいるような工場主、いかにも質素な商店主、こういう人を金融機関が大切にしないと日本は滅びます。本当ですよ。」（小原 鐵五郎（故人）、元全国信用金庫協会会長）（1982年3月「有訓無訓」日本経済新聞社より）

日本の良いところに、安心、安全、安定というのがある。しかし、経営という観点からみれば、それらは不要である。未来に向かい何を良くしたかが問われる。確かに担保をとって融資すれば安全だろう。垣根を作って既存取引関係を維持すれば安心だろう。

敢えて苦言を呈すれば、日本に不足しているものは起業家マインドである。それは単にお金儲けをするということでは全くなく、未来を切り開くことだ。

私は、仕事とは生きることそのものと考えている。また、人は仕事を通じて育つものだと考えている。最初の問いに戻ろう。自己実現が幸せの一つとすれば、あなたにとって、わくわくするような、誰も今までやったことのないこと、人生を賭けて挑戦するような、それが人のためになるような、そんなテーマを持ちそして実行できたら（結果は問わない）素晴らしいかもしれない。そんな人が身近にいたら、ああいう人になりたいな〜という人が沢山いたら、日本はもっと魅力的になるのではないか。

宮川雅明プロフィール

カタナ・パフォーマンス・コンサルティング株式会社 代表取締役
（一社）RMA 監事
（一社）企業研究会組織開発研究会代表
デジタルハリウッド大学大学院客員教授（ビジネスプランニング担当）
BTEC（英国政府国家職業資格）Extended Diploma 講師
IoD 英国経営者協会認証取締役

主な著作及び翻訳

「ビジネスリーダー」「グローバル時代の多目的 SWOT 活用」「ナレッジワーカーの生産性」「組織開発」「事業計画立案のための実践プロセス」（産業能率大学出版部）、「MBA のリスクマネジメント」「プロジェクトマネジメント」（PHP 研究所）など



「RMAの活動及び JABLAS 会の今後について」アンケート集計結果

実施日：2015年10月9日送付

アンケート送付総数：207通（JABLAS会会員 一機関会員 122、個人会員 85）

回答者数：78（58機関、20個人）

アンケート回収率：38%

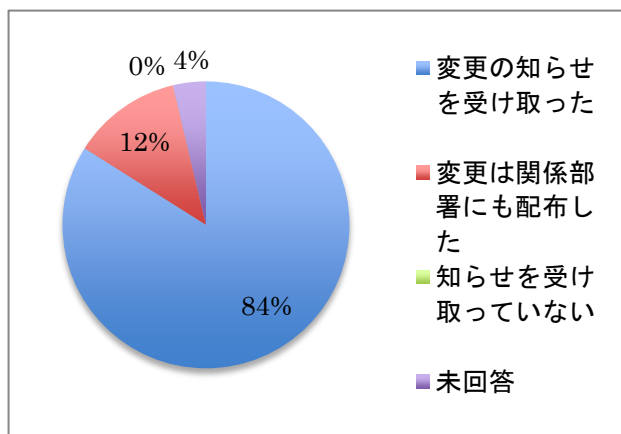
RMA への法人名変更に伴い、今後の活動についてのアンケートを2015年10月9日に実施いたしました。回収率は38%でした。今回フリーアンサーを除くアンケート結果集計を報告させていただきます。

法人名変更については会員機関へ周知され、半数近くの機関の理解を得ていることが調査結果から解りました。公開セミナー、見学会など従来からの活動について評価されていることが確認できました。その他、会員機関が要望する今後のRMA活動の方向性を示す調査結果も出ました。参考に致します。

各機関におかれましては調査にご協力下さいまして誠にありがとうございます。

1. 法人名変更通知

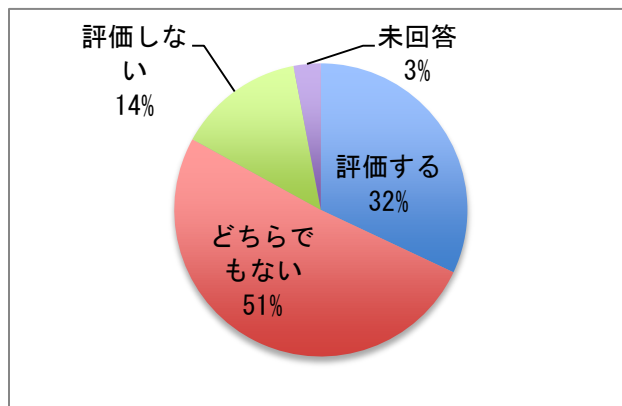
法人名変更を会員に郵送、eメール、ホームページで通知した結果、知らせを受け取っていない施設はありませんでした。



2. 新法人名について

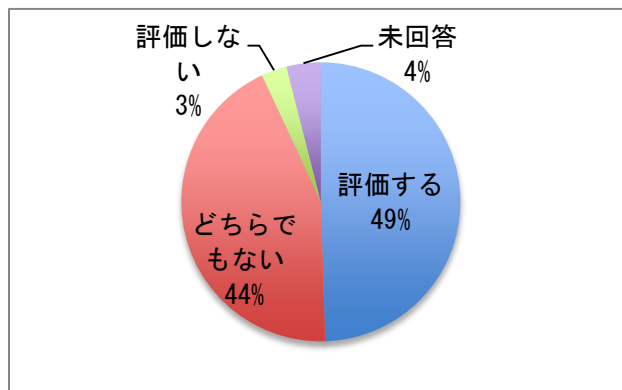
2-1. RMAの名称について

法人名称変更を「評価する」とした期間は32%にとどまった。一方、「評価しない」とした機関は14%あった。



2-2. RMAの意味について

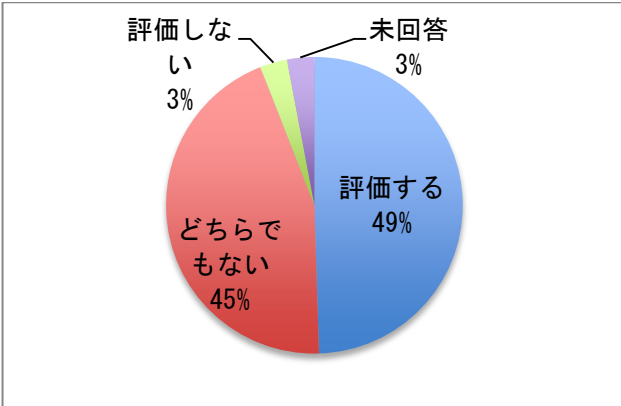
新法人名 RMA の意味について49%の機関から「評価する」という結果を得ましたが、一方では44%が「どちらでもない」という回答であった。



3. 活動について

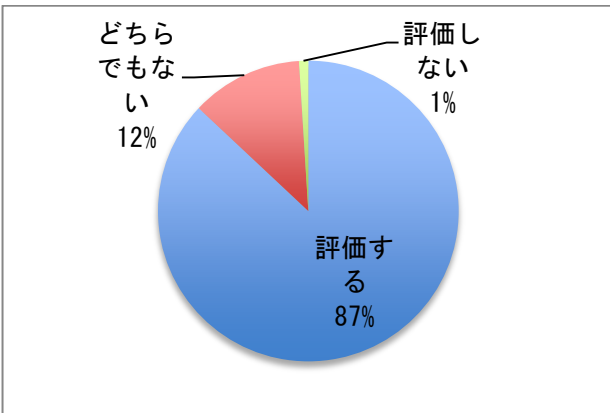
3-1. 信頼性マーケティングについて

信頼性マーケティング活動については 49%の機関から「評価する」という結果を得ましたが、一方では 45%が「どちらでもない」という評価回答であった。



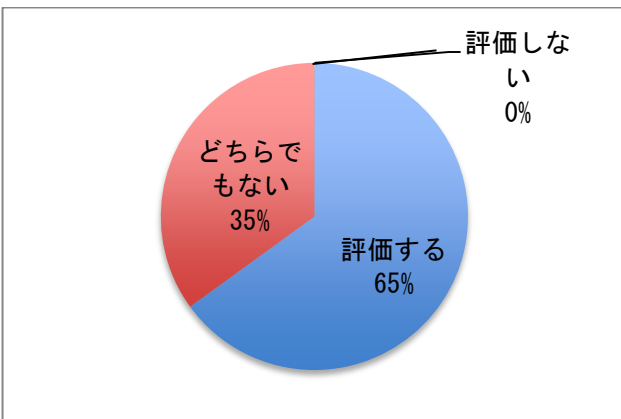
3-2. 公開セミナーについて

87%の機関から公開セミナーが評価されていることを確認できた。



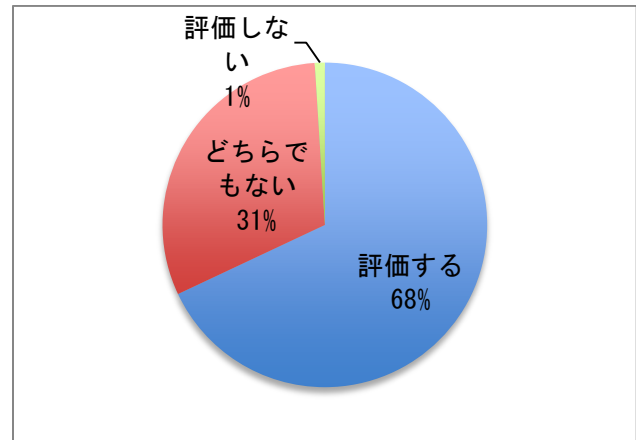
3-3. 見学会について

異業種見学会は過半数以上の 65%の機関から「評価する」という回答を得た。



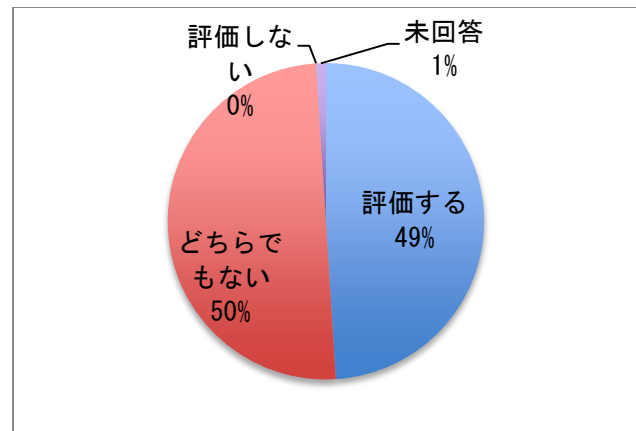
3-4. JABLAS NEWS について

JALAS NEWS を「評価する」と回答した機関は 68%あったが、31%が「どちらでもない」という回答であった。



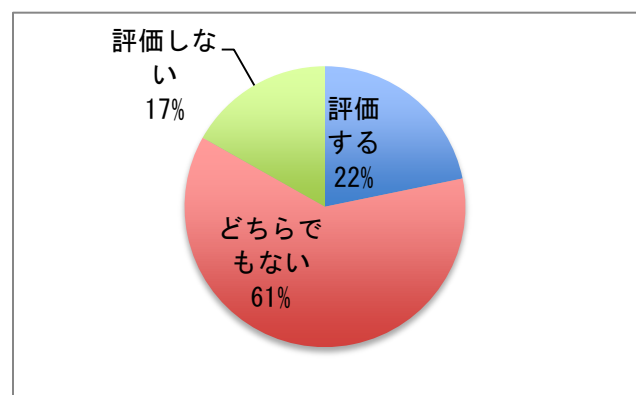
3-5. ウェブサイトの内容について

ウェブサイト内容については「評価する」と「どちらでもない」という機関がほぼ半数ずつで拮抗していた。



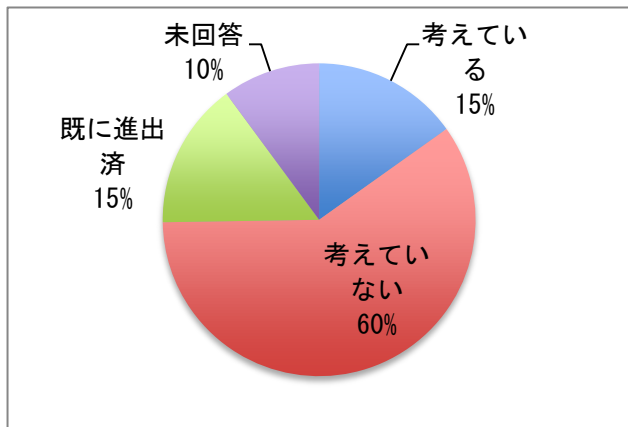
3-6. メールでのセミナー情報を 1 日 2、3 本増やすことについて

セミナー情報のメール発信増加については「評価する」は 22%に留まった。



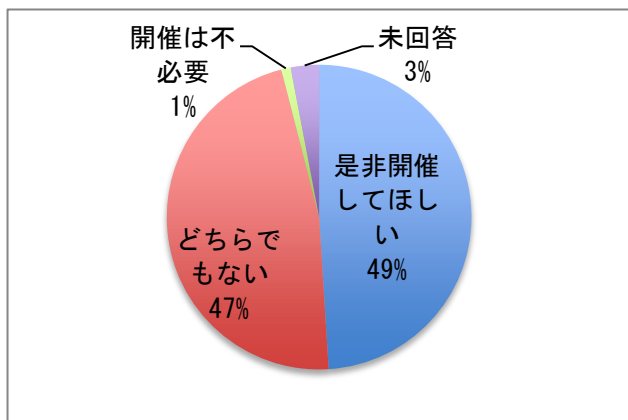
4. 海外進出について

事業の海外進出について「考えてない」が半数数以上の 60%であった。「既に進出済」という機関が 15%あった。



5. 国際会議について

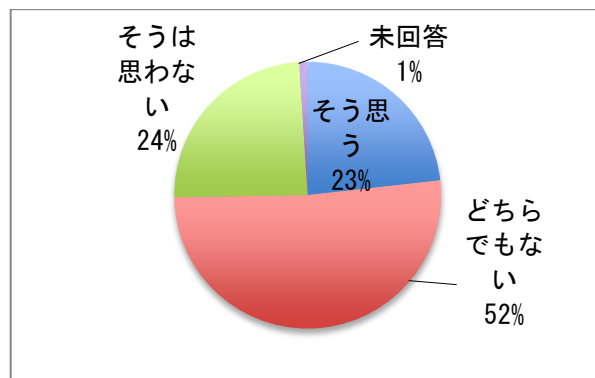
国際会議を「是非開催してほしい」と要望している機関が半数の 49%に上っている。一方、「どちらでもない」という機関も半数近い 47%であった。



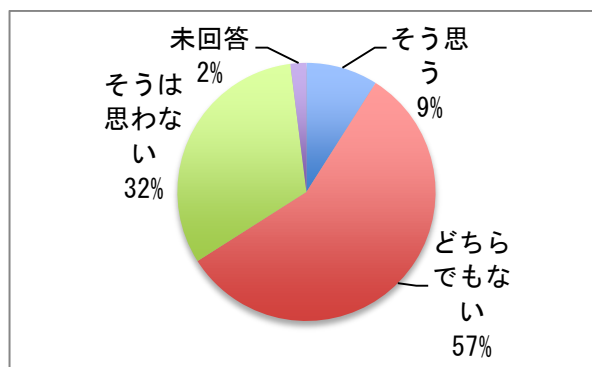
6. JABLAS 会について

6-1. 総会の東京以外での追加開催の要否

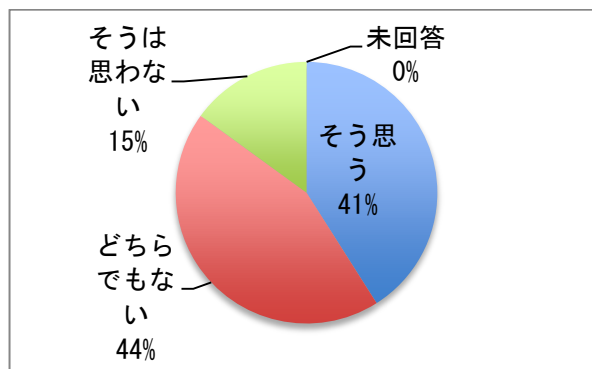
東京以外で JABLAS 会総会の開催を希望している機関が 23%あったが、一方、「そうは思わない」もほぼ同率の 24%あった。この回答を関東地区と関東地区以外で層別したところ、関東地区以外の会員が東京以外での追加開催を希望している比率が 41%あることが示された。



① 関東地区会員集計(N=44)

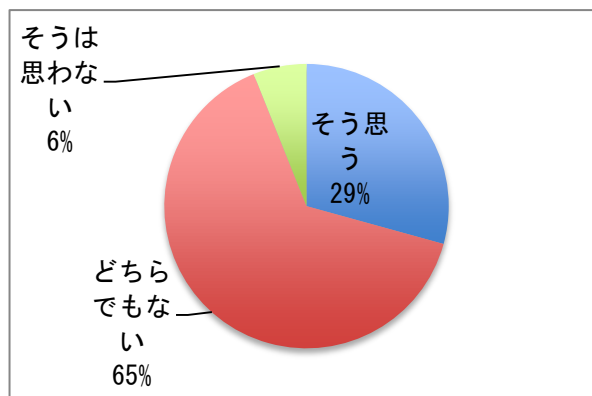


② 関東地区以外の会員集計(N=34)



6-2. 総会をもっと交流型にする

総会を交流型にするという質問に対して「そう思う」と回答した機関は 29%に留まった。



NEW

～シリーズ連載～

無理しない
がんばらない

【のんびり薬膳で健康生活】

薬膳インストラクター 関 なつき

第一回 「薬膳ってなあに？」

薬膳』という言葉、聞いたことがありますか？

「薬膳カレーとか薬膳火鍋のこと？それなら食べたことあるよ～」

「ああ、漢方薬みたいの入れてぐつぐつ煮込んだ料理でしょ？」

などなど、なんとなく耳にしたことはあっても『薬膳』がどんなものなのか、正確に知っている方はまだまだ少ないようです。

そんな知られざる『薬膳』ですが、これからの高齢化社会に向けて重要な予防医療のひとつとして、最近注目を集めつつあるのです。

古くて新しい『薬膳』の世界観と健康法を、これから何回かに分けてみなさんにご紹介していきたいと考えています。

Q：『薬膳料理』とはどんなもの？

A：中医学に基づき、身体のバランスを保つために食材の性質や薬効を考慮して作られた料理のことを言います。漢方薬くさいものばかりじゃありません！普通の食材で作られた美味しい料理も食材の組み合わせで『薬膳』です。

Q 中医学？聞いたことないけど。。。

A：中国伝統医療のことです。薬膳の他に鍼や灸、気功、太極拳も中医学の治療法です。春秋戦国時代（紀元前400年ごろ）に書かれた『皇帝内経』という医学書を基盤にした、数千年の歴史をもつ経験医学です。中医学では人体も自然の一部であるという自然哲学の思想のもとに、心身のバランスをとることによって病気の治療や予防をしていきます。日本の漢方医学、韓国の韓医学もルーツは中医学にあります。漢方は中医学と日本古来の医学が融合され、江戸時代の鎖国時に発展し、現代も生活習慣病の治療などにもその有効性を認められています。

Q：薬膳料理を食べたらすぐに体調が良くなるの？

A：体調の悪さには、それぞれ色々原因があると思います。体質や季節を考慮して作った料理を食べるとともに、日頃の生活習慣にも注意していくことによって体調を整え、病気にならないようにしましょう。ということが、薬膳の基本的な考え方です。ですから、薬膳料理を食べたからすぐに体調が良くなるということではありません。薬膳を知ることによってご自分やご家族の体質や生活習慣を考えるきっかけにつながるものだと思っています。

Q：でも、毎食体調を考慮した食事なんてできないわ。色々お付き合いもあるし。。。

A：現代社会で、毎食自分で食事を作るというのなかなか難しいことだと思います。また、食にばかりこだわり、こうでなくてはダメ！と固執することもストレスに繋がり、健康どころかかえって不調を招く原因にもなりかねません。薬膳の知恵とエッセンスを生活の中にちょっと取り入れて、無理せずだらかに生活を楽しみながら心身の健康を保つことが出来たら、とても素晴らしいことだと思います。

『薬膳』にちょっとご興味持っていただけましたでしょうか？

[春]

新芽が伸び始め、万物の成長が活発になる季節。のぼせや頭痛、イライラなど自律神経の不調や、花粉症などアレルギー疾患に悩む方も多い時期です。気持ちをリフレッシュさせ、血液や水分を補う食材や消化に良い食材がおすすめです。

おすすめ食材：セロリ、せり、しょうが、ねぎ、ごぼう、クコの実、山芋、じゃがいも、苺、桑の実、菊の花、黒豆、三つ葉、ミント、牛肉、レバー、ほうれん草、あさり、しじみ など

今回は薬膳の基本、「陰と陽」「五行説」の世界のお話しをします。



プロフィール： 関 なつき

薬膳インストラクター、国際薬膳調理師
東京都大田区にてクッキングサロン
「GREEN TABLE」主宰
薬膳を取り入れた多国籍な家庭料理の
レシピを日々研究中。
全日本薬膳食医情報協会 会員

健康・薬膳についてのご質問がありましたら、事務局までご連絡ください。

NEW

～弁護士先生のコラム～

契約書に一工夫、試験所のためのトラブル回避テクニック

弁護士法人かながわパブリック法律事務所

弁護士 北川靖之

試験所が作成すべき契約書

試験所が締結すべき契約の中で最も重要なものは、クライアント事業者との間の業務委託契約書でしょう。もちろん、事業用不動産の賃貸借契約書や、従業員との雇用契約書などの各種契約も重要ですが、業務委託契約書は試験所に特有の問題を含んでいます。

ところで、試験所が締結する業務委託契約というのは、民法上の規定が存在しません。現代的な契約ゆえに、民法の制定時には想定されていなかったといえます。

このような現代型の契約の場合には、契約書の条項が詳細になることが多くなります。一方、売買契約のような伝統的な契約の場合、「何を、いくつ、いくらで売る」といった基本事項だけを契約書に記載しておいて、トラブルが生じた場合には、民法等の法律に従って解決するというも行われています。現代型の契約においては、そのような法律が存在しませんので、あらかじめ詳細な契約書を作成しておくことが多くなるのです。

「これは頼まれてない」vs「頼んだはず」

試験所の業務委託契約のようなサービスを提供する契約の場合、サービスの内容・範囲に関連して、トラブルが頻出します。「それは頼まれていないので別料金が必要です」「いや、契約時に頼んだはずなので、当初の料金でやってください」といった言い争いを経験したことがある会社も多いのではないのでしょうか。以下、少し具体的に説明いたします。

そんな条件聞いてない！

試験所としては、提供された資料に基づいて、依頼された条件下で試験を実施します。資料に誤りがあったり、条件設定に不足があったりした場合には、適正な試験が実施できません。資料の誤りや条件設定に不足があった場合には、再度、試験を実施することになると思われますが、その費用をクライアントと試験所のいずれが負担するかが問題となります。

(一般的な契約条項)

第〇条

依頼者甲は、試験所乙に対して、試験の実施に必要な資料を提供するとともに、試験を実施する条件を提示する。

(工夫された契約条項)

第 2 項

試験所乙は、依頼者甲から提供を受けた資料及び依頼者甲が設定した条件以外の事項については、自己の裁量によって試験を実施することができ、自己の裁量により設定した条件をもって、依頼者甲の設定した条件とみなすことができる。

第 2 項を付加することにより、試験所側にとって有利な契約条項が出来上がりました。試験所は、クライアントが後から試験条件を付け加えてきた場合にも、第 2 項を指摘して、再試験を拒否することができるようになりました。この条項を根拠として、再試験の費用を請求することも可能です。

あれもこれも試験所の負担？

試験所としては、試験の実施にあたり当然に織り込んでいる費用もあり、それについては自己負担を予定していることと思います。しかし、特殊な調査や、通常よりも多く人件費がかかるような調査については、依頼者に費用負担を求めたいこともあるのではないのでしょうか。

(一般的な契約条項)

第〇条

試験の実施に要する諸費用は、いずれも試験所乙の負担とする

(工夫された契約条項)

第〇条

試験の実施に要する諸費用は、通常の資料作成費用、プレゼン費用などは試験所乙の負担とし、出張費、資料等の取り寄せ費用、調査の実施のために要員を使用した場合の人件費、依頼者甲からの試験条件の変更等により生じた追加費用等は、いずれも依頼者甲の負担とする。

諸費用の負担者を明確にすることにより、試験所があれもこれも負担しなくてよいようになりました。重要な点は、依頼者乙の負担となる費用について、明確に規定することです。いろいろなものが含まれるように、抽象的な文言を使いたくなりますが、後日争いになってしまいます。どうしても依頼者に負担してほしい費用については、狭く限定した文言で明確に規定した方が有利です。

トラブル事例を募集します！

試験所が締結する業務委託契約について、いくつかのテクニックを示しました。弁護士が思いつくだけでも、まだまだ多くのテクニックがあります。また、RMA 会員の間でトラブル事例等を共有すれば、さらに良い業務委託契約書ができあがると確信しています。

そこで、この場をお借りして、契約書にまつわるトラブルの事例情報を提供していただける試験所を募集させて頂こうと思います。トラブル情報を提供いただいた試験所に対しては、他の試験所から提供いただいたトラブル情報も踏まえて、業務委託契約を改善するためのアドバイスを無料で提供させていただきます。担当弁護士との間で秘密保持契約を締結いたしますので、他の試験所にトラブル事例が流出することはありません。

ご関心のある試験所の担当者様は、平成 28 年 5 月 31 日までに、電話か電子メールで、担当弁護士までご連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

弁護士 北川靖之 先生 プロフィール

弁護士法人かながわパブリック法律事務所 (www.kanapub-law.com)

TEL 045-640-0099 MAIL:kitagawa@kanapub-law.com

略歴

1998 年 大阪大学基礎工学部情報工学科卒業

1999 年 株式会社デサント入社

2005 年 弁護士登録

2013 年 エセックス大学 (英国) で法学修士号 (国際人権法) を取得

講師歴

(株) デサント (2006 年) セクハラ問題

大阪大学法学部 (2007) 刑事訴訟法

青森県税務課 (2010 年) 倒産法、など

2015 年度 実施セミナー / 研究会 / 見学会 (12 月～2016. 3 月)

【セミナー】

12 月 1 日 (火)

第 3 回 臨床検査室 易しい不確かさセミナー

—なぜ 不確かさを推定するのか—

12 月 3・4 日 (木・金)

第 30 回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー 2 日 (東京)

2016 年 1 月 26 日 (火)

第 8 回 ISO/IEC 17025 規格解説セミナー

2 月 1・2 日 (月・火)

第 31 回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー 2 日 (大阪)

2 月 4 日 (木)

第 5 回モンテカルロ法による不確かさの求め方セミナー (東京)

3 月 10・11 日 (木・金)

第 32 回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー 2 日 (東京)

【コスト研究会】

12 月 16 日 (火)

第一回 ケースで学ぶコストの原理・原則とコスト戦略

コスト意識が業績を支える! (午後/半日) (東京)

2016 年 1 月 21 日 (木)

第二回 徹底ワークシート!

実践コストダウン/要員設定 (午後/半日) (東京)

【見学会】

2016 年 1 月 8 日 (金)

第 15 回見学会・・・東京大学医学部附属病院検査部 様



【その他】

2016 年 1 月 28 日(木)

J A B 認定制度説明会 (東京)

2016 年 2 月 10 日 (水)

J A B 認定制度説明会 (大阪)


2016年度 東京大学附属病院臨床検査部見学会

一般社団法人 RMA 理事 関 顕

「臨床検査とは何か？」

「病院で採血や検尿をしたことはありますか？」

実は、それが臨床検査です。臨床検査は、患者から採取した血液や尿、便、細胞などを調べる「検体検査」と、心電図や脳波など患者を直接調べる「生理機能検査」の2つに大きく分けられます。

検体検査と生理検査の違い	
検体検査 	生理機能検査 
<p>標準化されている部分が多い 精度管理の手法が確立されている 検体(物)を扱っている (再現性が良い)</p>	<p>標準化されていない 精度管理の手法が確立されていない 患者(人間)を扱っている 測定者の技術が結果に影響する 同じ検査でも様々な機器がある 予約検査がある</p>
<p>違いを意識しながら、準備をすすめた</p>	

この度、新年の1月8日にRMA会員である東京大学医学部附属病院検査部（東京都文京区本郷 7-3-1 <http://lab-tky.umin.jp/>）のご厚意で見学会を開催しました。当日は、参加募集定員30名に対して医療関係者15名、試験所、校正機関関係者など15名と多種多様な業種の方々にお集まりいただきました。

東京大学医学部附属病院は、病床数は一般が1,163床、精神が54床、37の診療科を有しています。検査部は、中央診療施設の一つとして外来・入院患者の臨床検査を行っています。検査部は、臨床検査技師約80名、医師12名から構成されています。1年間の検査件数は外来患者が約20万件、入院患者が約10万件です。検査部は、2007年1月に大学病院としていち早く、ISO 15189「臨床検査室 – 品質と能力に関する特定要求事項」の認定を取得しました。



東京大学附属病院

見学会は、井口 新一RMA代表理事の挨拶、矢富 裕教授・検査部長の検査部紹介のご挨拶で始まり、大久保 滋夫検査部技師長に「東大病院検査部の品質マネジメントシステム維持の取り組み」を講演していただきました。現在の検査部の顧客重視活動をスライドでご紹介していただきました。一部スライドを下記に示します。

『ISO15189の規格をこえて 顧客重視の活動の実施(1)』

- ・患者さまアメニティ改善委員会の活動の充実
- ・外来採血室アンケート調査とそれによる改善
- ・外来採血室待合室への投書箱の設置
- ・きめ細かいall-honinメール(全病院)の作成
- ・院内向けHPPの充実させるなど
- ・日々の日報作成による、管理主体と検査現場の密な連携

『ISO15189の規格をこえて 顧客重視の活動の実施(2)』

- ・充実したアドバイスサービス
- ・生理機能検査室での検査結果に関する依頼医師との密な連携
- ・糖尿病代謝内科との連携(糖尿病教室への参加)
- ・緊急報告異常値(パニック値)の見直し
- ・検査部への要望についてのアンケート調査の毎年実施
- ・検査部主催研修会の開催

続いてJABが新たにISO 15189認定範囲とした生理機能検査の認定取得の経験談を品質管理責任者の小野 佳一主任技師から「東大病院検査部における生理検査室ISO認定取得に向けた取り組み」を、そして技術管理主体の小室 貴子副技師長から「生理検査室のISO認定審査を経験して」をそれぞれ講演していただきました。

講演終了後、参加者は3班に分かれ約40分間にわたり臨床検査部門の見学を行いました。業務改善活動の結果、採血室は、18台の採血台が設置され、85%の患者が採血台までに案内される時間（採血待ち時間）が10分以内に短縮されました。採血室で採取された血液検体は全自動検体搬送システムと大型自動分析機装置が設置されている臨床化学検査（酵素、脂質）、臨床血液検査（白血球、赤血球数）、微量物質検査（ホルモン、腫瘍マーカー）・感染症検査（梅毒）に搬送され検査されます。

広大な検査室の自動分析装置間を搬送ラインが結んでいる様子は工場のベルトコンベアそのものと見間違ふほどでありました。唯一、病原体からの感染防護用の白衣、マスク、手袋を着用した臨床検査技師が各装置を操作していることが生産工場とは異なっていました。検体搬送システムに接続はされていないが自動分析装置が設置された免疫検査（自己抗体）、一般検査（尿、糞、便）、遺伝子検査も見学しました。



臨床化学検査自動分析装置

生理機能検査は、心電図、肺活量、エコー検査、脳波検査が行われていますが、検査中であるため全ては見学できませんでした。見学中は参加者から質問を頂くなど、活発な内に見学会は終了しました。



生理機能検査装置（解析機能付心電計）

臨床検査室見学後、RMA理事でJAB審査員の関 顯氏が「内部監査の重要性」の講演を行いました。講演終了後、矢富先生と大久保技師長のご配慮で検査部検査技師と参加者との意見交換会を開催いたしました。ここでも引き続き見学内容、講演内容、ISO 15189認定取得に関する質問や臨床検査の品質管理など活発な意見交換が行われ今回の見学会を終了いたしました。

参加者からは普段見学できない病院臨床検査室の見学ができたことに対して満足した声を多数聞かれました。この度の見学会から少しでも臨床検査室への理解と品質マネジメントシステムの知見が得られたことを願っています。

東京大学医学部附属病院検査部見学会実施のためにご尽力頂きました、矢富教授、大久保技師長をはじめ生理機能検査認定取得経験の講演を行っていただいた検査部技師の皆様、見学案内をお手伝いいただいた検査部技師の皆様に改めて御礼申し上げます。また、ご参加頂きました皆様にも心より御礼申し上げます。

RMAでは、この後も、見学会の実施を予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



RMA(旧 JABLAS)2016年度公開セミナー 開催予定表				RMA <small>Reliability Marketing Accountability</small>		http://rma.tokyo													
No.	公開セミナー・講演会		受講料 (消費税込)		2016年度														
					2016年									2017年					
					上期						下期								
					会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
不確かさセミナー																			
1	2016年版 不確かさにおける基礎から応用を徹底！ 講演型 セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560					7木										
2	2016年版 不確かさにおける基礎から応用を徹底！ 講演型 セミナー(一日)(大阪)	大阪	¥17,280	¥34,560			30木												
3	これで納得！シリーズ2016年版 演習型 不確かさセミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560												○			
4	これで納得！シリーズ2016年版 演習型 不確かさセミナー(一日)(大阪)	大阪	¥17,280	¥34,560												○			
5	第6回モンテカルロ法による不確かさの求め方セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560												○			
6	第7回楽しく遊び感覚で「不確かさの活用法」を発見する。セミナー(講師手作り教材使用)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560							30金								
7	食品・微生物試験 バリデーションと不確かさの求め方セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560			6月												
8	食品・理化学試験 バリデーションと不確かさの求め方セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560									○						
内部監査員養成セミナー(注 New! ISO 15189 臨床検査室内部監査員養成セミナーは下記 30・31項)																			
9	第33回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(大阪)	大阪	¥34,560	¥69,120			19木 20金												
10	第34回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120				22水 23木											
11	第35回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120								○							
12	第36回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120									○						
13	第37回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(大阪)	大阪	¥34,560	¥69,120												○			
14	第38回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120												○			
15	第5回 演習型 ISO/IEC 17025 内部監査員リーダー育成セミナー(二日)(大阪)	大阪	¥34,560	¥69,120					5火 6水										
16	第6回 演習型 ISO/IEC 17025 内部監査員リーダー育成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120								○							
17	第7回 演習型 ISO/IEC 17025 内部監査員実践力向上セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120												○			
18	第3回 食品等試験所のための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120			25月 26火												
19	第4回 食品等試験所のための内部監査員養成セミナー(二日)(大阪)	大阪	¥34,560	¥69,120									20木 21金						
規格解説セミナー																			
20	第9回 ISO/IEC 17025 規格解説セミナー(一日)(大阪)	大阪	¥17,280	¥34,560			14木												
21	第10回 ISO/IEC 17025 規格解説セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560				1水											
22	第11回 ISO/IEC 17025 規格解説セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560							6火								
23	第12回 ISO/IEC 17025 規格解説セミナー(一日)(大阪)	大阪	¥17,280	¥34,560									6火						
24	第13回 ISO/IEC 17025 規格解説セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560												○			
試験技術・経営者向けセミナー																			
25	第5回 マイクロピペットによる精度管理セミナー	神奈川	¥21,600	¥43,200								○							
26	第6回 マイクロピペットによる精度管理セミナー	神奈川	¥21,600	¥43,200									○						
臨床検査室対象セミナー																			
27	第6回 ISO 15189:2012(第3版)規格解説セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560			12木												
28	第7回 ISO 15189:2012(第3版)規格解説セミナー(一日)(大阪)	大阪	¥17,280	¥34,560				8水											
29	第4回 臨床検査室 易しい不確かさセミナー —なぜ 不確かさを推定するのか—(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560									○						
30	第1回 ISO 15189/臨床検査室 内部監査員養成セミナー(二日)(東京)New!	東京	¥34,560	¥69,120				16木 17金											
31	第2回 ISO 15189/臨床検査室 内部監査員養成セミナー(二日)(大阪)New!	大阪	¥34,560	¥69,120					12火 13水										

RMA(旧 JABLAS) 2016年度 研究会・講演会 開催予定表				RMA <small>Reliability Marketing Accountability</small>		http://rma.tokyo												
No.	研究会	参加費用 (消費税込)		2016年度														
		会員	非会員	2016年						2017年								
				上期			下期			上期			下期					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
CWO/CHO(チーフ・ホームページ「HP」・オフィサー)育成プログラム/夏季特別研究会(集中型)																		
1	ICT 研究会	3回パッケージ 各回 東京 10:00~17:00 (単日ではご参加頂けません。) ・中堅・スモールカンパニー・ベンチャー HPの現状と課題 ・自社のホームページは活きているのか! 診断プログラム ・他社に学ぶ 収益を直接生む、問合わせをしなくなるHPとは ・Webマーケティング指標(Google Analyticsの活用)を設定し、有効性の高いHPへ ・Web戦略実行のための具体的計画を立てる 徹底ワークシー	東京	¥54,000	¥81,000						22月							
												14水						
													29木					
2		パッケージ参加が難しい方 1日で3日の概略を(1日)(東京) 10:00~17:00	東京	¥21,600	¥32,400							1木						
3	リスク 研究会	リスクとは何か 全社員のリスク意識を醸成するためのミニブックも紹介!(午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600													
4		ケースで学ぶ! リスク対応力が信頼を向上させる(午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600													
5	コスト 研究会	①ケースで学ぶコストの原理・原則とコスト戦略 コスト意識が業績を支える!(午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600													
6		②徹底ワークシート! 実践コストダウン/要員設定(午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600													
7	ヒュー マンエ ラー	ヒューマンエラーはなぜ怖い(午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600				△									
8		ヒューマンエラーの防止策 (午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600										△			
講演会																		
9		第3回 仕事の仕組み作り・標準化 (午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600				27月									
10		第4回 仕事の仕組み作り・標準化 (午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600									○				
食品企業対象																		
11	講演会	第5回 有害物質を入れない予防対策。食品企業対象(午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600					30火								
12		第6回 有害物質を入れない予防対策。食品企業対象(午後・半日)(大阪)	大阪	¥10,800	¥21,600								25火					



JAB 最新情報

(I) 【申請受付中】臨床検査室の認定取得(ISO 15189)をお考えの皆様へ

(<http://www.jab.or.jp/news/2016/031501.html>)

ISO 15189 に基づく臨床検査室の認定に関する Q&A をご紹介します。

(II)【情報提供】株式会社 環境総合テクノス主催の白米中無機元素分析技能試験について

(<http://www.jab.or.jp/news/2016/2016030301.html>)

株式会社 環境総合テクノス主催の「第 9 回 白米中無機元素分析の技能試験」参加機関募集のご案内が届きましたので、情報提供の一環でお知らせいたします。

(III) 2015 年度 ILAC 総会報告 (ミラノ)。

(<http://www.jab.or.jp/news/2016/2016021201.html>)

AF/ILAC 合同総会及び付属委員会会議が、2015 年 10 月 28 日～11 月 6 日の日程でミラノ市(イタリア)において開催されました。

2015 年ミラノ合同総会のうち ILAC2015 関連の総会及び付属委員会の概要を下記にてご紹介致します。

[2015 年度 ILAC 総会報告](#) (PDF 56KB)

(IV) 輸出中古自動車の不正輸出証明について。(<http://www.jab.or.jp/news/2016/012500.html>)

警視庁より中古自動車の輸出検査に関連し、中古自動車輸出業者による

公文書偽造事件について次のとおり注意喚起がありました。

【被疑会社】

関東近県所在の中古車輸出会社

【偽造の対象となった公文書】

- ・ 輸出予定届出証明書
- ・ 輸出抹消仮登録証明書 いずれも運輸支局発行文書

(V) 技能試験提供事業の終了について。(<http://www.jab.or.jp/news/2016/012101.html>)

本協会は第 33 回の理事会にて ISO/IEC 17011 への適合性を踏まえ、本協会が実施する技能試験提供事業につき 2016 年 9 月を持って、終了することといたしましたのでご連絡申し上げます。

【本事業終了に伴う代替策】

試験所等の認定に必要な技能試験の利用に関しましては、以下の通りの対処をさせていただきます。

1)本協会実施の技能試験のうちの一部につきましては、同等の技能試験を外部機関に実施していただけるよう調整しています。

調整でき次第本協会の Web サイト等でご案内いたします。

2)外部の技能試験提供者による技能試験の利用を推奨します。

利用可能な技能試験の情報について、本協会 Web サイト上に掲載内容を順次充実していきます。

3)技能試験が無い場合は、JAB RL230(技能試験の適用についての方針及び手順)の「5.技能試験の適用についての方針」にしたがって、認定審査の際、対応規格における結果の品質の保証への要求事項によって試験所の技術的能力を評価します。

以上

事務局だより

～新しく始まります講演会のご紹介～

『仕事の仕組み作り・標準化』(午後・半日)

受講のお勧め/特長

本講演では、とかく四角四面だ、形式主義だと非難されがちな標準化をもう一度見直してみます。

先ず、標準化の位置付けや意義を再確認し、標準化が仕事を進める重要な仕組み作りであることをお話しします。

標準化は個人の能力を抑え、システム化し、機械的に仕事を進めることでは全くありません。

むしろ仕事の標準化は、生産性の向上や固有技術開発・改善の基礎のといえます。

なお、本講演では、講師からの一方的な情報提供ではなく、参加者からのご意見を随時いただきながら進めて行きます。



趣味：山登り
ドライブ
茶道

講師：井口 新一 一般社団法人 RMA 代表理事（旧 一般社団法人 JAB 試験所協議会 JABLAS）
（前 公益財団法人日本適合性認定協会（JAB）専務理事）

編集後記

今回から始まりました シリーズ連載 ～のんびり薬膳で健康生活～。
薬膳と言うと “苦い”や“漢方と何が違うの？”など分からない事ばかりです。そこで、少しでも薬膳を知って頂き、日々の生活に取り入れて健康な毎日をお過ごし頂けたらと思います。

また、～弁護士先生のコラム～では、トラブル回避のテクニックを掲載しております。契約に関するアドバイスを頂くことでトラブル回避になります。是非、ご相談してみたいかがでしょうか。

事務局だよりでは、五反田周辺情報や、その他色々な情報を掲載予定です。何かご意見等がございましたら、事務局までご連絡ください。

事務局 吉田 基子

著作権は執筆者、所有権は RMA に有ります。

RMA に許可なく使用・転載・コピーを禁じますが、会員様の組織内ではご自由にご閲覧下さい。

発行／一般社団法人 RMA（旧 JABLAS）東京都品川区東五反田 1 丁目 22-1 五反田 AN ビル 3F

電話 03-5798-8820 Fax 03-5798-8821 メール jimukyoku@rma.tokyo <http://rma.tokyo>

それは、 世界が認める 信頼の証です。

試験所認定 ISO/IEC 17025



確かな品質と安全性は、信頼できる製品試験によって磨かれます。
試験所認定 ISO/IEC 17025は、公益財団法人日本適合性認定協会が認定する
世界でその信頼性と技術能力が認められた試験所の証です。



公益財団法人
日本適合性認定協会
JAPAN Accreditation Board

※JABはISO/IEC 17025における試験所認定機関です。

<http://www.jab.or.jp> 試験所 校正 認定 試験

ISO/IEC 17025認定試験所については右記QRコードからご確認くださいませ。

